

# みんなの 広報

「みんなの広報」は市民の皆さんから投稿いただいた情報を掲載しています。掲載している情報は行政情報ではありませんので、不明な点などは各問い合わせ先に連絡してください。

また、投稿は随時募集しています。  
詳細は市ホームページを確認してください。

▶問い合わせ  
☎秘書課 ☎0287(62)7109



11月13日(土)

## 大切な人を失ったあなたへ

大切な人を失った遺族が集い、気持ちを分かち合い、新たな一歩を踏み出すための会を開催します。

▶とき 11月13日(土)

- ①分かち合いの会 in 那須 午後2時～4時
- ②りんどう(自死遺族部会) 午後1時30分～3時30分
- ③カーネーションの会(流産・死産体験者部会) 午前10時～正午
- ▶ところ 那須看護専門学校(前弥六54-1)
- ▶持ち物 故人の思い出の品物や写真

▶会費 200円 ※申し込み不要。

▶申し込み・問い合わせ

- ①分かち合いの会 in 那須③カーネーションの会(仲山) ☎080(9541)4918
- ②りんどう(矢野目) ☎0287(37)0800

11月24日(水)ほか

## 傾聴講座

地域における人のつながりが希薄化する中、高齢者などの孤独を解消するため、相手の心に寄り添い話を聴く、傾聴活動が求められています。そこで、家庭、近所付き合いなど、生活の中でも役立つ傾聴講座を開催します。あなたも、傾聴ボランティアの第一歩を踏み出しませんか。

▶とき 11月24日(水)、12月1日(水)、8日(水) 午後1時～3時 (全3回)

▶ところ いきいきふれあいセンター

▶対象 市民

▶定員 20人 ※定員になり次第締め切り。

▶参加費 無料

▶申込方法 電話または窓口で申し込み

▶申込期間 11月2日(火)～12日(金)

▶申し込み・問い合わせ

市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎0287(47)6700

## ミニ 自治会だより

「ミニ自治会だより」では、市内自治会やその活動を紹介します。

▶問い合わせ ☎市民協働推進課 ☎0287(62)7151

### 盛んなサークル活動(石林自治会)

石林自治会は、平成30年6月に自治公民館の修繕・増改築を行い、より使いやすくなった公民館を拠点に活動しています。その年の7月から自治会・長寿会主催で「いきいき百歳体操」を始めました。また、サークル活動が盛んになり、ラージボール卓球、スポーツ吹き矢、そば打ちのサークルを新設しました。しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染症対策のため、サークル活動を休止しています。これまでのような自治会活動もできていません。早く収束し、活動を再開できることを願っています。



石林自治会 会長 須佐 實 グラウンドゴルフを楽しむことも健康の秘訣

ちっちゃな自然

## み~つけた



バックナンバーはこちら▲

自然を愛そう那須塩原

## 振り返ると…パート2 ～涼みに来た、 ミヤマクワガタ!?～



①ミヤマクワガタのメス(拡大) ②ミヤマクワガタのオス  
③壁際にいるメスのミヤマクワガタ

撮影日:2021.8.5 撮影場所:那須塩原クリーンセンター

暑い日が続いた8月上旬、クリーンセンターの仕事を終え帰ろうと玄関を出ると、なにやら後ろから視線を感じ、振り返ると、壁際に真っ黒い小さな物体が…。近づいてみると、そこにいたのは、ミヤマクワガタのお母さんでした。思わず「オオ～!」と小さく叫んでしまいました。外は暑すぎて、クリーンセンターに涼みに来たのかもしれませんが。

ミヤマクワガタのオスは独特な頭部を持ち、メスは背中が黒光りした、子どもたちに人気のクワガタです。しかし、暑さには弱く、生息するためには豊かな森林が必要です。現在、彼らは温暖化や森林伐採などにより、その生息条件が脅かされる状態にあります。そんなミヤマのお母さんは、クリーンセンターで大切に飼育することにしました。子どもたちをクリーンセンターの森へ返せることを願って! あきお

## MADE in なすしおぼらを 味わおう



～塩原だいこん編～  
▶問い合わせ ☎農務畜産課 ☎0287(62)7147

標高が高く昼夜の寒暖差が大きい塩原では、高原野菜の生産が盛んに行われています。今回はこれからの季節、甘みを増す「塩原だいこん」を紹介します。

## 私が作っています!

大根農家(塩原)  
こやま かつひこ  
小山 加津彦さん(43歳)  
約16年前に親元で就農。  
実家は約60年前から塩原で  
大根を栽培しています。



## “塩原だいこん”ってどんな大根?

塩原だいこんは6月中旬頃から収穫が始まり、夏でもみずみずしくおいしい大根です。秋から冬になると、昼夜の寒暖差で大根がうまみを蓄えとても甘くなります。直売所に出荷している大根の中には、他の品種より水分が多く、より甘みを感じていただける品種も。割れやすく長距離の運搬に向かないため、ぜひ地元で味わっていただきたいです。

## 農業を続けることの難しさ

塩原地区もここ数十年、鳥獣被害が著しく増えています。早朝畑に出ると、鹿の群れがいることも珍しくありません。農産物も相場が不安定で、直売所で販売できる量も限られています。農業を続けていくことは大変ですが、おいしいと言っていただけの野菜を作り続けられるように頑張ります。



①畑で立派に育つ塩原だいこん。水分をたっぷり含み、つややかでみずみずしいのが特徴。②両親と共に。父親の吉信さんは塩原そ菜生産出荷組合の組合長を務める



より詳しい情報は市ホームページで紹介しています。併せてご覧ください。

